| 学校番号 | 3003 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭科 | 科目 | （学）生活学 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう」　（大修館書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に目を向け、様々な問題を解決する能力・知識を身につけましょう。

・実験・実習を通して生活に役立つ確かな技術を身につけましょう。

・生活の中で起こる様々な課題や実験やワークショップ、演習を通して考え理解し知識を身につけましょう。

・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身の気付いた内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

・学習した知識を実際に生活の中で活かし、よりよい生活ができるようにしましょう。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　実践的･体験的な学習活動を繰り返し行い、卒業後すぐに社会で活用できる必要な技術や知識を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
　主体的に考え、判断し、生涯を見通して課題を解決する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　家族や社会との共生をめざし、生活の充実と向上を図る。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日常の家庭生活に関心を持ち、実際の生活の場で実践できる基礎的な知識と技術を身に付けている | 持続可能な社会の実現を目指して、よりよい生活を工夫し創造する能力を身に付けている。 | 家族や地域の人々と関わることで主体的に創造しようとする実践的な態度を養おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 食生活 | ・基本調理<br>・食品管理<br>・栄養素とその働き | a:計量器・調理器具の使い方、包丁の扱い方、野菜の切り方などの基本操作を理解している。<br><br>b:課題意識を持って調理実習に臨み、栄養バランス、おいしさ、食べやすさの面で適切に思考・判断できる。<br><br>c:自分の献立作成・調理ができること、それを家族や知人のために役立てることに関心を持ち、意欲的に取り組んで実践しようとしている。 | レポート<br><br>定期考査 | ワークシート<br><br>ファイル提出 | 授業観察<br><br>ワーショップ<br>調理実習<br><br>振り返りシート |
| 2学期 | 共生社会と福祉 | 現代の子育て環境の現状と課題 | a:乳幼児の育児に関心を持ち、「生み育てる」ことの意義を理解している。<br><br>b:乳幼児との触れ合いや交流、親や保育者が乳幼児と関わる姿の観察など実践的・体験的な学習活動を通して身に付けることができる。<br><br>c:自分が住む地域の子育て支援策を調べて意見交換するなど、主体的・積極的に課題に取り組み、振り返って改善するなど生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 | レポート | ワークシート<br><br>ファイル提出 | 授業観察<br><br>ワークショップ<br>保育実習<br><br>振り返りシート |

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| | 衣生活 | 基礎縫い<br><br>作品制作<br><br>配色によるイメージ<br><br>被服のデザイン | a: 基本的な色の調和と配色を学び、それらを活かしコーディネートすることができる。<br><br>b:被服の選択に関する基礎的な知識を習得し衣生活の向上・充実に取り組む力を身につけている。<br><br>c:被服製作に関心を持ち、人の暮らしと衣生活とのかかわりを考え、意欲的に取り組んで実践しようとしている。 | レポート<br><br>定期考査 | ワークシート<br><br>ファイル提出 | 授業観察<br><br>被服実習<br>作品提出<br><br>振り返りシート |
| 3学期 | 経済生活と生涯の生活設計 | 職業生活の設計<br><br>消費生活<br><br>これからの社会を創造する | a:家庭経済と国民経済とのかかわりや経済社会の変化が家庭経済に様々な影響を及ぼしていることを理解し、経済現象に対して、正確な知識や情報を取集し、主体的に家庭の経済計画、予算計画の必要性を判断して行動することができる。<br><br>b:消費者として必要な知識と価値観を身につけ、日常生活の中で消費生活の向上を目指して工夫することができる。<br><br>c:自分の将来について関心を持ちその充実・向上をめざして生活設計・経済設計を実践する態度を身に付けている。 | レポート<br><br>定期考査 | ワークシート<br><br>ファイル提出 | 授業観察<br><br>ワークショップ<br><br>振り返りシート |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度